

<金標準、停戦協議の動向次第の相場展開・・・>



(出所：オアシス)

イランの電力発電所および橋への空爆開始である米国東部時間 8 日 PM8 : 00 の 90 分前にパキスタンの仲介で、トランプ大統領はホルムズ海峡の閉鎖の解除を条件に 2 週間の停戦で合意している。またパキスタンの首都イスラマバードで米国とイランの停戦協議を行う事でも合意するなど、中東情勢における地政学的なリスクの低下に伴い、金価格は買われる動きを見せている。特にイラン戦争でホルムズ海峡の閉鎖に伴い原油価格の上昇から、将来のインフレ懸念を受け、利下げ観測が後退し、ドル高の悪影響を受けて金価格は下落している。そのため今回の停戦協議は、リスク緩和に伴い金価格にとってポジティブな要因に映っている。しかし依然とイラン革命防衛隊によるホルムズ海峡の事実上の閉鎖は続いており、停戦協議が不調に終わる可能性も残っている事から、両国の要人発言に左右される値動きが今後も続く可能性が高まると思え、停戦協議中は金標準先物で 24500 円～25500 円の往来相場が続く可能性が強まると思える。

<テクニカル>

金標準先物の日足の MACD では、MACD が上昇し、シグナルは上昇している。RCI は短期が切り下げながら、長期は切り上げている。特に指数平滑移動平均線のレンジが狭くなっており、日足の動きから方向性は示されていないと思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 6,900,000 円(2026 年 4 月 13 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 108,240 円(2026 年 4 月 13 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>